



開院記念祭

「私の健康みつめる未来・地域への医療の貢献」

5月14日～17日

今年も4日間にわたり、院内外において開院記念行事を開催しました。最終日の17日は、午後6時より二本松御苑にて、第一部に当病院各科診療部長による記念講演を、第二部はNobyさんのトランペットソロ演奏と、地域の方々との意見交換会を行いました。その時の記念講演の概要を紹介します。



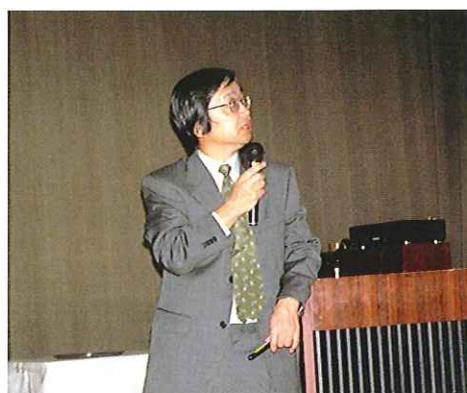
内科部長
山崎 正明

メタボリック症候群 (メタボ)

平成18年5月、厚生労働省から肥満に関する国民健康調査結果が発表された。40歳～74歳における男性、女性のメタボはそれぞれ25.7%、10.0%であり、予備軍を加えるとそれぞれ51.7%、19.6%だったというものである。すなわち男性の半数、女性の1/5が肥満関連の生活習慣病を有していることが明らかになつた。そこで肥満、糖尿病、高血圧、高脂血症が集積しているメタボについて解説する。

日本人の死亡原因で多い虚血性心疾患と脳血管障害は動脈硬化が進行して発症する。動脈硬化は生活習慣病（喫煙、肥満、高脂血症、高血圧、糖尿病）によって惹起される。喫煙は肺癌ばかりでなく、気管支炎、肺気腫、歯周病、胃潰瘍および動脈硬化を起こして健康をそこなう。したがって禁煙は健康寿命を伸ばす第一歩である。

メタボは内臓脂肪型肥満（おなかに脂肪が蓄積した肥満）による。肥満していないときの小さい脂肪細胞はアデイポネクチンという物質を分泌して動脈硬化を予防してくれている。しかし内臓脂肪型肥満で脂肪細



メタボリック症候群（メタボ）の診断基準

- I、腹囲▶男性85cm以上、女性90cm以上
- II、以下の①②③のうち2つ以上を有する場合
 - ①高脂血症▶中性脂肪値 150mg/dl以上
または HDL 40mg/dl未満
 - ②血圧高値▶収縮期血圧 130mmHg以上
または 拡張期血圧 85mmHg以上
 - ③高血糖▶空腹時血糖 110mg/dl以上

IおよびIIを満足する場合にメタボリック症候群と診断する。

Iを満足し、IIを満足しないときはメタボの予備軍である。

目標にする。内臓脂肪1kg減少すると腹囲は1cm減少する。運動療法として激しい運動は必要なく、むしろ危険である。歩行運動が最適とされている。さらに高脂血症、高血圧、糖尿病に対する薬物療法も必要になる場合が多いので、医師の指示を受けることが重要だ。

外科の今までのあゆみと これから展望



外科部長
六角 裕一

1、診療実績、特に手術と乳癌検診について。

過去10年間の手術について記載します。

手術室で行つた全身麻酔、腰椎麻酔の手

術数はおよそ2,000人です。その中

で癌の手術を受けたことは約800人、残り

の人が良性疾患の手術です。癌の手術の

内訳(図1)では胃癌と大腸癌で全体の

約3/4を占めており、乳癌が約1/8となっ

ています。胃癌、大腸癌、乳癌がどのよ

うな推移をするかに関してはほぼ変わり

が無く、この10年間で大腸癌や乳癌が著

明に増えたという傾向は見られませんで

した。

次に乳癌検診についてです。触診の乳

癌検診は以前からやっていたのですが、

最近マンモグラフィー併用検診がはじま

り、平成17年には1,300人、平成18

年には1,600人以上のかたをみていま

す。要精検率は13%程度でしたがその

中で触診でわからぬような早期の乳

癌が発見されたこともあります。

2、最近の治療の変化について

腹腔鏡下の腹部手術と、乳癌の手術の縮小化があるかと思います。腹腔鏡の手術は現在主に胆石症で行われており、腹腔鏡下胆囊摘出術とはおなかを切らないで胆囊、胆石をとる方法です。当院では

胆石症に関しては、可能な限り腹腔鏡での手術を行うことにしており、またその他の腹部手術に関しても行っていく予定です。

乳癌の手術ですが、以前は乳房全切除と胸の筋肉の大胸筋と小胸筋の切除でした。それが乳房全切除のみになり、最近

では乳房温存療法といつて癌を含んだ乳腺の一部をとるだけの手術ですむ人もで

てきました。それでも生存率が変わらな

いことがわかつてきました。それら

抗癌剤療法、放射線療法も最近かなり行われるようになつきました。それら

きたからです。必要な患者さんにはそれ

らをお勧めしています。

3、今後について

今後は学会や第三者機関の認定を受けることなどを含めて病院、外科のさらなるレベルアップをはかり、患者さんのためによりよい医療を提供していくことを思っています。

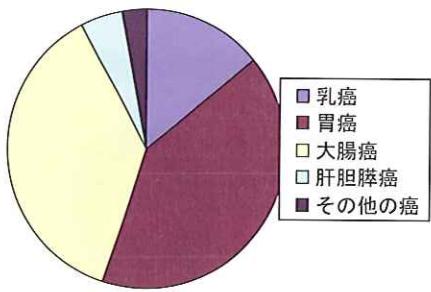


図1 二本松病院外科、過去10年間の手術
癌の手術約800例の内訳

当地域における産婦人科の役割 ～思春期から老年期まで～



産婦人科部長
大和田真人

地域の皆さんに二本松病院産婦人科の印象を聞くと、まず第一に「お産病院」という答えが返つてくると思います。確かに私達の施設は二本松地区で唯一分娩を取り扱っています。昨今の少子化の影響で徐々に減少してますが、年間約450～500件の分娩を扱い昨年度で470件、そのうち帝王切開分娩は61件でした。

私達の分娩施設の特徴としては、①複数の医師・助産師による安心・安全なお産を目的とし、患者さんサービスとして、②夫の立会い分娩、③無痛分娩の取り入れ、④病院ホームページでの赤ちゃんの写真の公開、⑤マタニティビックスなどを行っています。

産婦人科は女性の一生をサポートするものであり、妊娠・分娩以外にも多くの疾患の治療を行っています。特に婦人科がんの診断・治療は柱の一つであり、子宫がん検診はその入り口と考えます。子宫がんは30～40歳代に多い子宮頸部がんと、50歳以降に多い子宮体部がんになります。頸部がんは性交時出血や不正出血が、体部がんは閉経後の性器出血がその症状と言われていますが、ごく初期には無症状の事も多く検診が重要と考えます。一般的な子宫がん検診は頸部がんのみの検査ですので、もし閉経の方で



泌尿器科部長
中村 隆行

泌尿器科の現況と今後の展望

泌尿器科では尿に関する病気の治療を行っています。今回は前立腺腫瘍と、慢性腎不全、尿路結石症と、女性の尿失禁についてお話しします。

前立腺は男性膀胱の下にあるクルミ大の臓器で精液の一部を分泌します。前立腺肥大症は良性の腫瘍で、尿の勢いが弱い、頻尿、残尿感などの症状がみられ、65歳以上の5人に1人位起ります。内服薬か手術による治療をします。手術は内視鏡により、腫大により狭くなつた尿

性器出血を認める方は体部がんの検査も受けて下さい。また検診時に卵巣腫瘍が見つかることもあります。卵巣腫瘍のうち悪性のもの（がん）は10～20%程度ですが、初期の場合はほとんど症状を認めませんので検診は重要と考えます。また骨粗しよう症の検査・治療も婦人科で行っています。骨粗しよう症とは骨がスカスカになつて折れ易くなつた状態を指します。もともと女性は骨の量（骨塩量）が男性に比べて少ないため骨粗しそう症になり易いのですが、ちよつと転倒が足の付け根の骨（大腿骨頸部）の骨折を起し、寝たきりの原因となることが増えてきています（寝たきりの原因の第2位です）。自分の骨塩量を正確に知ることが治療そして寝たきり予防の一歩と考えます。

道を削って広げます。年間30例位の手術件数ですが、近年、「1遮断剤」という内服治療が肥大症の排尿困難をすいぶんと改善できるようになり、全国的に手術件数は減少傾向です。反対に、前立腺癌が非常に増加しております。2003年に天皇陛下が癌手術を受けられましたのは記憶に新しいこと思います。健康診断でPSA（前立腺特異抗原）を調べられるようになり、当院で二次検査としての前立腺生検や、前立腺癌の手術件数が増えています。血液検査で早期発見が可能ですので、50歳になりましたら是非PSAを検査しましょう。

慢性腎不全は糖尿病や糸球体腎炎、高血圧などから、腎臓の機能が低下し、尿毒素が排出されない病気で、腎機能10%以下になりますと、人工透析が必要になります。当院では昭和53年から血液透析療法を始め、今年で30年目になります。現在100名程の治療を行っております。日本国内で透析治療を受けられているのは25万人以上にのぼり、なお増加傾向であります。私共は、今後増え続けます患者様にも積極的に対応してまいりたいと思います。

尿路結石の治療では昨年9月から最新式の体外衝撃波結石破碎器を導入しまして、手術(切開)しないで結石の治療を行うことが可能となりました。

女性の腹圧性尿失禁や、急に尿意をよおし、我慢できない感覚におそわれる過活動膀胱といった排尿障害も治療しております。女性はどうしても膀胱炎になります。女性はどうしても膀胱炎になります。女性はどうしても膀胱炎になります。女性はどうしても膀胱炎になります。

平成19年度病院方針

院長

社会保険庁の廃止・解体・健康保険法改正など変革する医療制度の中、平成19年度目標に「日本医療機能評価更新準備」
*病院機能の維持・継続」「特定検診・特定保健指導に対する準備」を掲げ5つの病院基本方針が述べされました

① 安定した経営基盤の維持

・経理計画の100%推進・入院並びに外来患者の維持・病床利用率80%以上に

・減
・維持・検診業務の推進・経費の10%削減

② 医療の安全性を確保・推進

・医療安全管理室設置(リスクマネジメント委員会活動ICT委員会の活動)

③ 進歩する医療への研鑽

・内科 生活習慣病の予防と治療 呼吸運動・医療相談室の充実

④ 地域医療向上への貢献

・外科 腫瘍外科 生活習慣病二次検診
・泌尿器科 二次検診を含めた泌尿器科

・全般 悪性腫瘍・結石破碎・慢性腎不全

・産婦人科 産科のQOLアップ

・医局 医師の獲得、専門性の追求、チーフ医療のリーダーとしての活躍、患者情報の共有(地域医療連携の強化)、症例の蓄積とレビュー

・看護局 看護の質の向上

・看護教育委員会・教育方針や教育計画の明示・看護業務検討委員会・看護修会への積極的参加・ケアマネージャー専門ナース

護研修会への積極的参加・ケアマネージャー専門ナース

・腎センター 効率的業務と患者満足度向上・センターレイアウトの変更

・E.M課 機械使用時のマニュアル作成・適切な管理による維持費の削減

・薬剤部 薬品の安全管理と期限切れ防

止・適切な服薬指導と稼動効果・NST活動の連携・院外薬剤師の指導と誤処方防止・代替調剤の推進による患者QOLの向上

・検査部 FMS導入の実効を出すこ

と・業務改善委員会設立・院内外に

向かた研修・研究活動・精度管理の積極的参加

・検査部 FMS導入の実効を出すこ

と・業務改善委員会設立・院内外に

向かた研修・研究活動・精度管理の積極的参加

・放射線部 放射線の安全管理・CT・MRI検査の臨床応用の拡大・乳がん検診技術及び施設管理・健診出張後業務の見直し・機器の維持・管理・経費節減

・理学療法部 繼続的リハビリの実施・介護予防事業への積極的参入・訪問

・訪問看護ステーション 効率的業務推進の検討・地域医療連携室との緊密な係り・診療担当者との定期的情報交換・在宅での看取りと介護・特定高齢者の対応

・職業倫理を守る個人情報の保護(秘

密厳守)・患者に信頼される言動(生

命と人格の尊重)・知識の保持・向上・

院内研修会出席率評価・安全・安心・

満足度で信頼を確保

・栄養課 食品衛生管理の徹底・選択メ

ニューの多様化・NST活動の充実・

維持・特定保健指導の体制づくり・

諸経費の10%カット・効率良い業務

展開

安全管理・電話対応を含めた接遇の改善・向上・事務管理の徹底・消耗品儉約・国有財産・院有財産管理の徹底・購入価格削減の追求・効率的

資産管理

・医事課 適切なレセプト作成と請求漏

れ防止・窓口接遇の向上・地域医療連携室の効率的運営・未請求・未収入防止の検討・レセプト・オンライン化への対応・電子カルテ・オーダリングシステム

[事務局長]

社会保険病院・厚生年金病院の在り方の見直しが求められている現状において、社会保険庁改革は平成22年1月を日処に社会保険庁の廃止・解体から、日本年金機構の設立を目指している。社会保険庁とは切り離されて検討されているとはいえ、医師会の意見を聴取し、改革は暫時進行している現状は、病院の地域での役割・明確な方向性・独自性を強調していくかなければならぬ。その中で、病院として、「患者様増及び医業収益が伸びない中での独立採算」整理合理化の動向を見据えた経営の安定「病院機能評価更新に向けた受審準備申請」「特定健診・特定保健指導の体制整備」を掲げ、次のことを重点項目とした。

①収益確保

「空床をつくらない」という基本のもと、病床利用率を高める。地域住民のニーズに応える為にも今年度4月より地域医療連携室を新設し、地域に根差した医療・福祉の充実を図る。また、人材の確保及び横断的な配置。

②経費削減

時間内終業を目標に掲げ、徹底した超過勤務の削減とともに共同購入・価格情報の入手・価格交渉を積極的に施行し医療用消耗品・事務用品の購入額削減。徹底的なコスト管理を行いムダ・ムラの排除。

③人材の育成

個人目標及び評価制度の完全実施に向け、管理職のリーダーシップのもと、役割に応じた責任を明確にし、評価制度自体を活用する。

④他部門との連携

各種委員会間での情報・マンパワーの有効活用のために、積極的な人材確保・情報交換を実施。

以上、簡略ながら重点項目を掲げました
が、これらの目標遂行のために、「まず患者様にお出でいただくことから始まる」という考え方を徹底し、地域医療を担う重要な病院として、患者様へ安心・安全な医療を提供していく次第であります。

[看護局長]

(看護理念)

社会保険病院の看護職員としての自覚を持ち、患者様に信頼される看護を目指します。

(看護目標)

- 1 患者様に安全。安心の看護を提供します。
- 2 患者様にまごころで接します。
- 3 看護の質向上のため自己研鑽につとめます。
- 4 医療機能評価再受審に向けて準備を進めます。

(病院における質)

医学的、臨床的な質、診療に付随する様々なサービスの質の向上。

看護の質向上のためマニアルを標準化しムリ・ムダ・ムラのない一定基準のケアの提供し、安全・安心・納得の医療を提供できる病院。

【栄養課より】

ためしてレシピ！

まぐろの生姜焼き丼

皆様のご家庭で！今日は、鮪のお刺身にしたが食べ切れなくて…!? なんてことは！無いと思いますが、もし！の時は、今月紹介します「丼」を、是非、作ってみてはいかがでしょう。別に最初から鮪のサクを切り落として生姜焼き丼を試してみては!!



*材料 4人分

温かいご飯	適量
鮪の刺身	400g
サラダ油	適量
生姜のすりおろし	小さじ1
醤油・味醂・酒	各大さじ4
万能ねぎの小口切り	適量
白髪ねぎ（長ねぎ）	適量

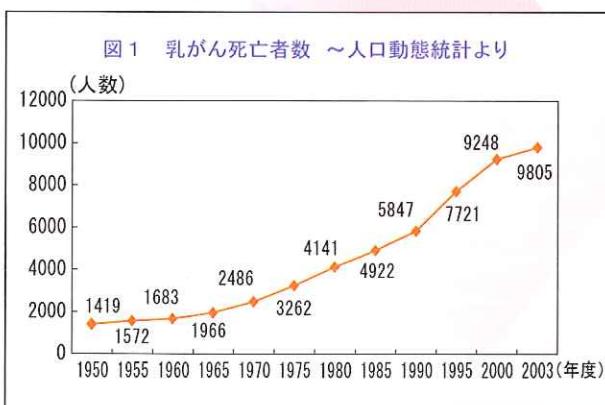
*作り方

- ① パットに、(醤油・味醂・酒)を各大さじ4と、生姜のすりおろしを入れて、混ぜ合わせ、鮪の刺身を加えて、約5~10分漬ける。
- ② フライパンに、サラダ油を適量入れ、中火で熱し、鮪を並べて入れ焼く。表面の色が変わたらすぐに裏返しして、同様に焼き火を止める。
- ③ 最後に、丼にご飯を盛り、焼いた鮪をのせ、万能ねぎと白髪ねぎを飾り出来上がり。

放射線部より

マンモグラフィ乳がん検診を受けてみませんか？

現在、日本人女性の23人に1人が乳がんにかかるといわれており、2003年には約38000人が罹患し、2015年には48000人が罹患すると予想されています。乳がんの発生は20歳過ぎから認められ、30歳代ではさらに増え、40歳代後半から50歳代前半にピークを迎えます。また、図1に示す様に乳がんの死亡者数も年々増加の一途をたどっています。死亡数も2003年では9805人で、壮年層の女性の部位別死亡数では、最も多いがんとなっています。今後も増加することが予想されています。



当院における乳房撮影（以下、マンモグラフィという）は図2に示す様に外科外来での撮影や住民検診を含めると2005年は1354名、そして2006年は1633名と年々増えてきています。

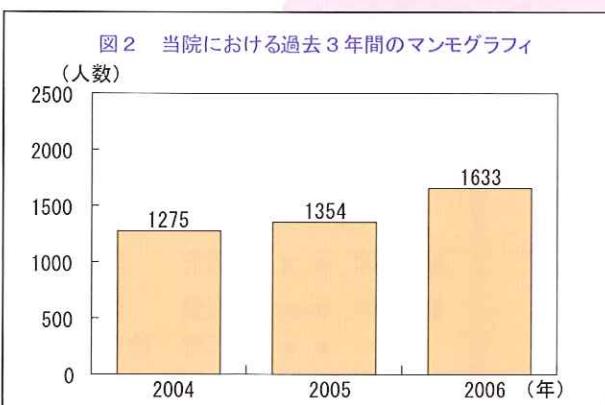
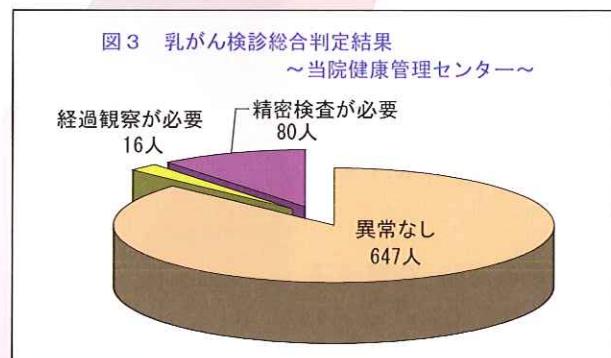


図3は、2006年の当院の健康管理センターで乳がん検診を受けた方の総合判定結果を集計したものです。その結果、精密検査が必要と診断された方は743名中、80名でした。この精密検査が必要となった方が、さらに詳しく検査することによって乳がんと診断される可能性があります。今回の精密検査を必要とされたほとんどの方が、しこりや痛みなどの自覚症状がありませんでした。このことから、自覚症状がなくても、乳がん検診を受け、早期の乳がんを発見することが必要であると思われます。



乳がんは早期に発見・治療すればほとんどが治るがんです。乳がんの発見にはマンモグラフィを併用した乳がん検診が有効です。マンモグラフィ検査は触診では分からぬような小さな乳がんや腫瘍をつくる乳がんを「微小石灰化（乳がんの初期症状の1つ）」で映し出すことができます。

当院ではマンモグラフィ検診施設評価（精度の高いマンモグラフィ検診の普及を目的とした機関であるマンモグラフィ検診精度管理中央委員会が定めた評価）で最高評価の『A』を取得しております。また、認定医師、認定技師もあり、患者様に安心して検査を受けていただけるような環境を整えておりますので、ぜひ、多くの方にマンモグラフィを併用した乳がん検診を受けていただきたいと考えております。



看護部だより

看護部の「理念」、「目標」が新しくなりました。

「理 念」

社会保険病院看護職員としての自覚をもち、患者様に信頼される看護を目指します

「目 標」

1. 患者様に安全・安心の看護を提供致します
2. 患者様には真心をもって接します
3. 看護の質向上のため自己研鑽につとめます
4. 医療機能評価再受審にむけて準備をすすめます

わが家のアイドル

わが家に来て

3ヶ月になる

「マルちゃん」です。

毎日が大運動会です。

外来看護師 神野姫子



看護師	木村	看護師	本田	育児休業
(こにちは赤ちゃん)	(5/18)	(5/23)	弘美	



最新型全身用コンピュータ
断層撮影装置

最新型全身用コンピュータ断層撮影装置の導入について
(マルチスライスCTスキャナーシステム)
当院では、医療機器整備の一環として、最新型全身用コンピュータ断層撮影装置「GE（ゼネラルエレクトリック）社製 Bright Speed Edge」を導入しました。当院の装置は、1回の撮影で同時に複数の輪切り像が得られる最新型マルチスライスCTスキャナードです。得られた輪切りの画像から血管や骨、またすべての臓器の精細な立体像を作ることができます。今話題になっているメタボの測定も容易です。
この検査は、痛みなどは全くなく、ベットに寝ているだけで、短時間に終了します。
なお、検査をご希望の方は、お気軽に外来、放射線部などにお問い合わせください。

平成19年度 永年勤続表彰者

勤続30年	看護師 遊佐 節	事務員 高橋 富美子
勤続20年	放射線技師 高橋 登	看護師 渡辺キミ子
事務員 三村 浩吉	看護師 根本智賀子	看護師 高守 聰子

編集後記

今月の目標
笑顔・真心・恩



相手の立場に立ち
思いやりのある行動を
神野藤智子

皆さん今年の夏はどのような予定を立てていますか？ お野菜がおいしい季節になりますね。私は、今年家庭でミニトマト作りに初挑戦します。皆さん栄養たっぷりのお野菜をたくさん食べて暑い夏を乗り切りましょう！

(Y.S記)